

国河保第 69 号
平成 18 年 1 月 12 日

雪崩関係地方整備局（別紙）河川部長 殿
雪崩関係地方整備局（別紙）企画部長 殿
北海道開発局建設部 地方整備課長 殿
北海道開発局事業振興部 防災対策官 殿
雪崩関係道府県（別紙） 担当部長 殿

国土交通省砂防部保全課長

雪崩災害に対する警戒について

今冬は各地で記録的な大雪となっており、現在までに過去の積雪記録を上回った地域も多くみられ（資料 - 1、2 参照）集落雪崩（住家周辺の雪崩）等、12 月から現在までに既に多く雪崩の発生が報告されています（資料 - 3 参照）。

今後も雪崩による人的被害が懸念されるため、なだれ注意報等の気象情報に注意するとともに、雪崩危険箇所を中心とした警戒に万全を期するようお願い致します。

雪崩に関する気象情報については、気象台から発表される情報に注意するとともに、今後の見込みや雪崩の発生しやすい気象条件等について、気象台に積極的に問い合わせしていただくようお願い致します。

雪崩危険箇所を中心とした警戒については、市町村とも連携して、なだれ注意報の発令地域をふまえつつ、住民への危険箇所の周知、積雪情報の収集とその情報の住民への提供等を積雪期間を通じて実施していただくようお願い致します。

また、今後、危険箇所等のパトロールを実施する場合は、危険区域に立ち入らずに安全確保を第一義とするようにして下さい。

さらに、万一雪崩災害が発生した際には、関係部局への通報を速やかに実施していただくようお願い致します。

また、各地方整備局ならびに北海道開発局においては、上記の主旨を踏まえ、雪崩関係道府県に対する適切な助言・支援をお願い致します。

なお、本通知と連携して、気象庁予報部業務課長から各管区気象台宛に、気象状況に関する問い合わせへの対応等、雪崩関係道府県への協力の実施についての通知が出されていることを申し添えます。

（別添参考資料）

資料 - 1 今冬の大雪の状況（1 月 11 日 9 時現在）

資料 - 2 大雪に関する状況（平成 18 年 1 月 11 日 9 時現在）

資料 - 3 平成 17 年 12 月からの雪崩災害発生状況

(別紙)

< 関係地方整備局 >

東北地方整備局

関東地方整備局

北陸地方整備局

中部地方整備局

近畿地方整備局

中国地方整備局

< 雪崩関係道府県 >

北海道

青森県

岩手県

宮城県

秋田県

山形県

福島県

栃木県

群馬県

新潟県

山梨県

長野県

富山県

石川県

岐阜県

静岡県

福井県

滋賀県

京都府

兵庫県

鳥取県

島根県

岡山県

広島県

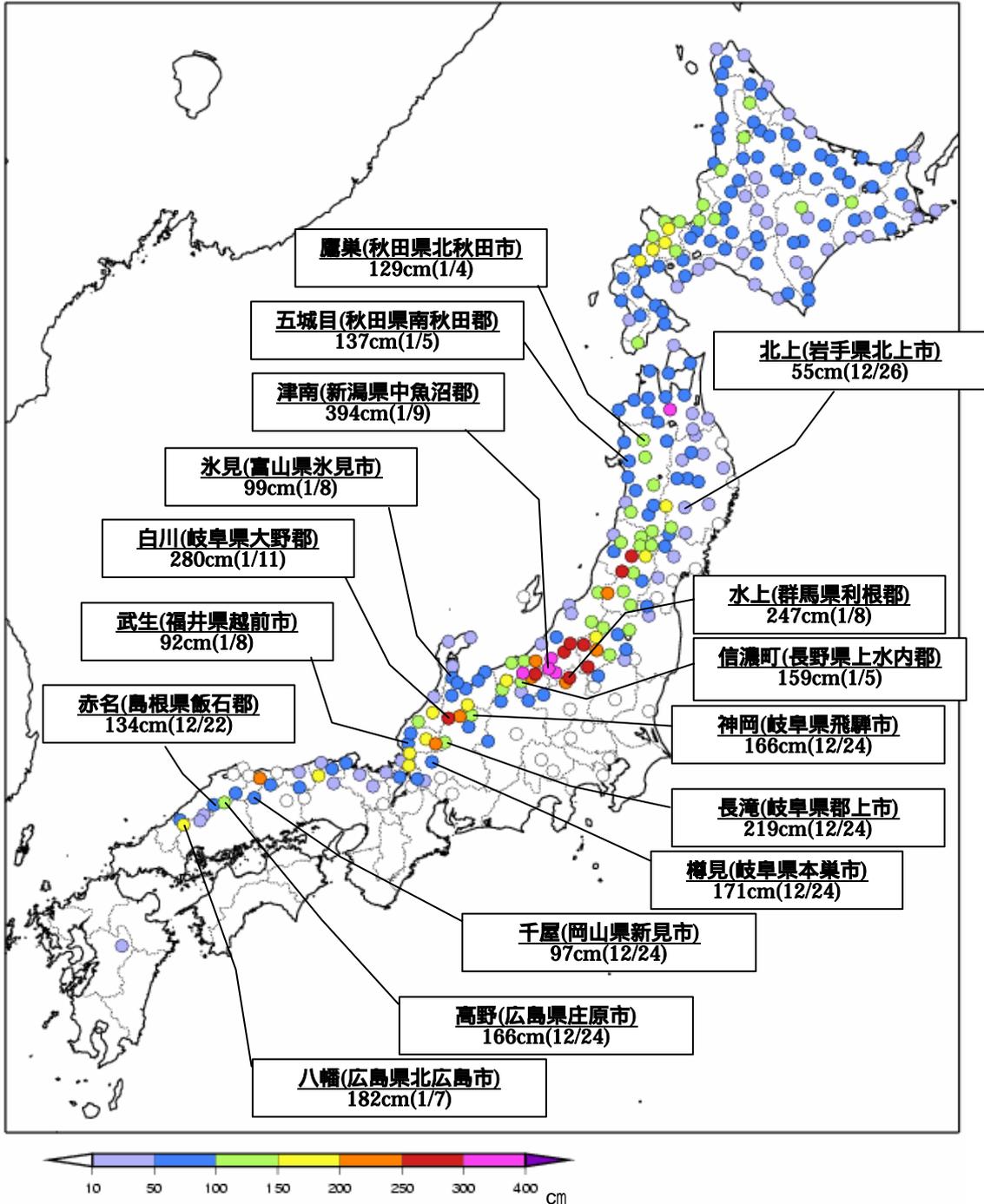
【資料 - 1】

気象庁

今冬の大雪の状況（1月11日9時現在）

- 年間の最深積雪の記録を更新した地点（最大値と観測日） -

年間の最深積雪の記録を全国16点で更新（他にタイ記録3地点）。
（観測期間が10年以上継続している地点：334地点）



12月の最深積雪の記録を1道1府21県、106地点で更新。

1月の最深積雪の記録を1道16県、46地点で更新。

丸で示した色はアメダス積雪深計で観測した各地点の1月11日9時現在の積雪の深さを示す。

大雪に関する状況

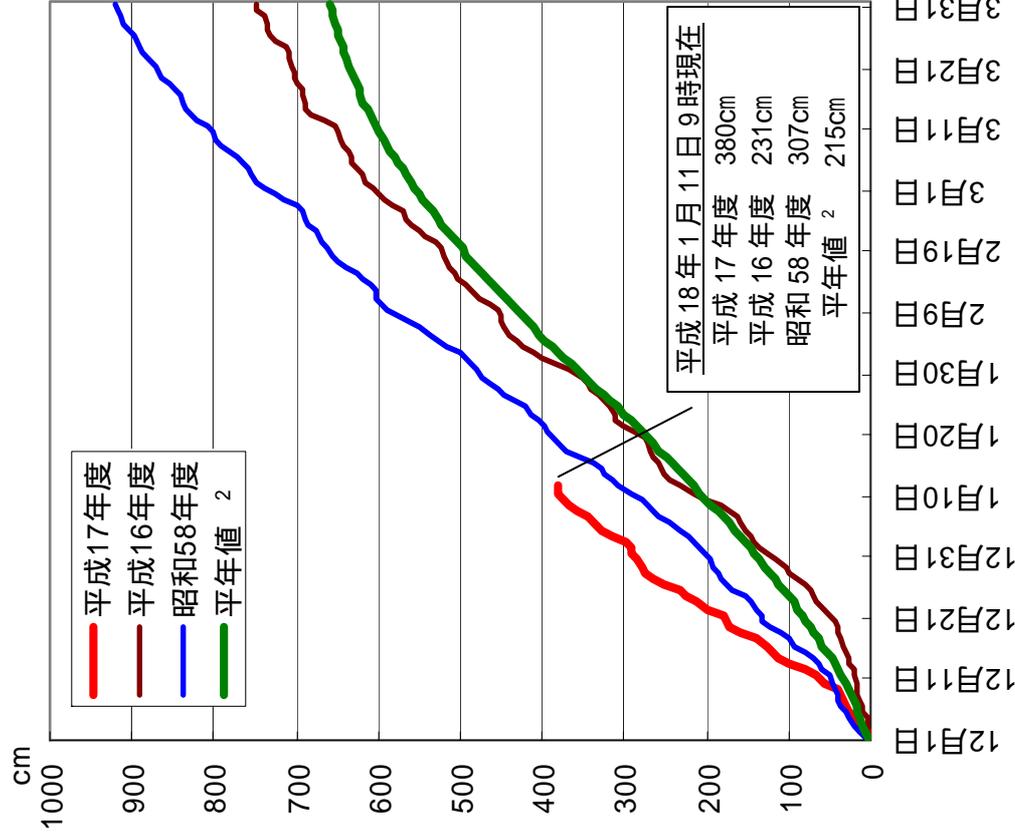
【資料 - 2】

気象庁

(平成18年1月11日9時現在)

多雪地帯における平均累積降雪量

(昭和58年以降継続して観測している多雪地帯¹の
アメダス101地点についての平均)



積雪の多い上位10地点

地点名	積雪深(A) (11日9時現在)	1月の最深積雪の 平年値 ² (B)	差 (A)-(B)
津南(新潟県)	379 cm	216 cm	+163 cm
酸ヶ湯(青森県)	337 cm	280 cm	+57 cm
湯沢(新潟県)	309 cm	170 cm	+139 cm
関山(新潟県)	307 cm	182 cm	+125 cm
十日町(新潟県)	306 cm	172 cm	+134 cm
入広瀬(新潟県)	297 cm	203 cm	+94 cm
野沢温泉(長野県)	294 cm	184 cm	+110 cm
肘折(山形県)	289 cm	251 cm	+38 cm
大井沢(山形県)	277 cm	データ年数が少ないため平年値なし	
只見(福島県)	272 cm	176 cm	+96 cm
藤原(群馬県)	272 cm	143 cm	+129 cm
白川(岐阜県)	272 cm	133 cm	+139 cm

- 1 北海道から中国地方にかけて日本海側を中心とした地域で、豪雪地帯対策特別措置法に基づく豪雪地帯
- 2 平年値は概ね昭和56(1981)年から平成12(2000)年までの平均

平成17年12月からの雪崩災害発生状況【速報版】

Snow Avalanche Disasters

【国土交通省 砂防部 H18.1.12】

砂防部調べ

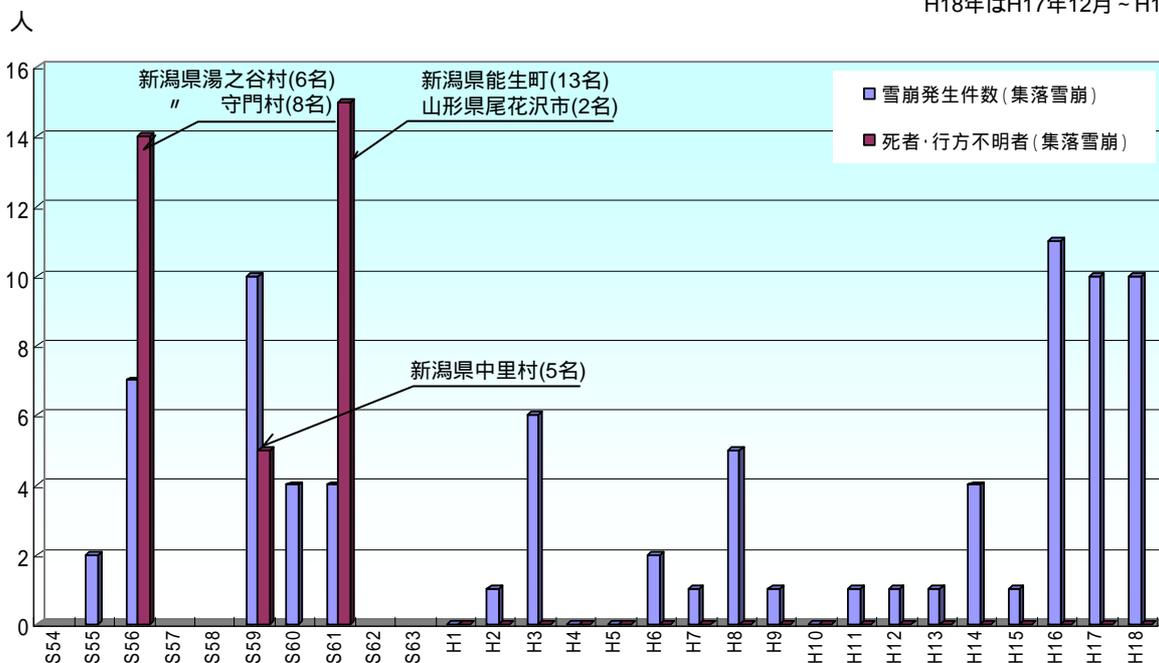
雪崩：32件 道路にかかる雪崩を含む

うち、集落雪崩(住家周辺の雪崩)：10件

負傷者 13人、家屋一部損壊 2戸

雪崩発生件数と死者数(集落雪崩)

各年は暦年
H17年はH17年1月～H17年4月
H18年はH17年12月～H18年1月



ぐじょうしたかすちょうおおわし
《岐阜県郡上市高鷲町大鷲》

— 雪崩被害箇所の概要 —

11道県において32件の雪崩災害が発生
(18. 1. 12現在)

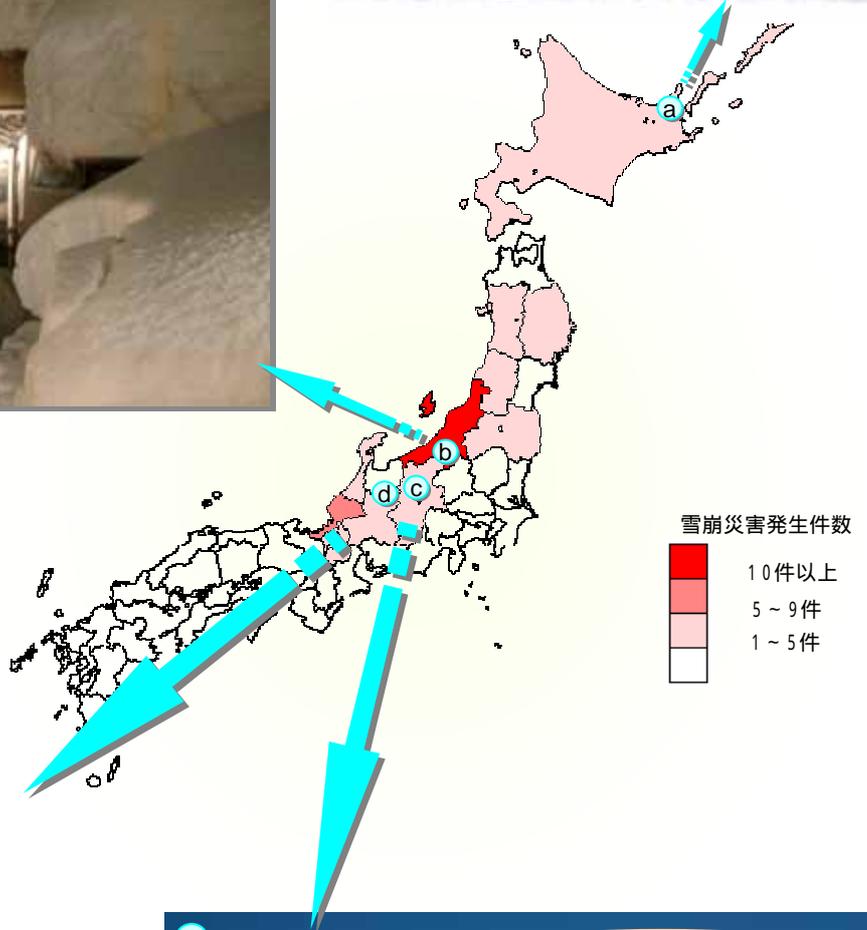
平成17年1月6日11時発生
北海道羅臼町礼文町



雪崩により倉庫が一部損壊



平成18年1月5日発生
新潟県十日町市浅河原地区



平成17年12月24日7時30分発生
岐阜県飛騨市稲越字柳ヶ瀬地内



急傾斜施設で雪崩を捕捉し、人的被害無し



雪崩により1名重傷



平成17年12月31日発生
長野県北安曇郡小谷村 白馬コルチナススキー場

平成17年12月からの雪崩災害発生状況

これは速報であり、数値等は今後変わることもある。

雪崩災害の発生状況(平成18年1月12日 9時00分現在)

都道府県名	発生件数	人的被害			住家被害			集落雪崩
		死者	行方不明	負傷者	全壊流出	半壊	一部破損	
北海道	2							1
岩手県	1							
秋田県	2							
山形県	1							
福島県	2							
新潟県	12			11			1	5
石川県	1							1
長野県	2			2				1
岐阜県	3						1	2
滋賀県	1							
福井県	5							
雪崩合計	32			13			2	10

詳細については確認中であり変わる事もある。

雪崩には、集落雪崩(住宅周辺)の他、道路にかかる雪崩や

山岳・スキー場の雪崩で人的被害のあったものを含む

砂防関係の取り組み

砂防部保全課において「雪崩災害警戒体制」をとって、情報収集等を継続中

・雪崩防災情報を砂防部ホームページ(下記アドレス)に掲載

関係機関への要請

・10月25日 雪崩危険箇所の周知・点検、警戒・避難訓練、雪崩防災に係る広報活動等を実施するよう通知(雪崩防災週間(12月1～7日)の実施にあたっての通知)

・12月5日 雪崩災害を含めた災害報告の徹底について通知

・12月22日 雪崩災害に対する警戒と災害報告の徹底について、注意喚起文書を発出

1月10日(独)土木研究所雪崩・地すべり研究センター所長を派遣し、新潟県津南町や長野県栄村等を中心に、北陸地方整備局と新潟県・長野県が連携してヘリコプターによる積雪状況調査を行うことを決定

砂防部ホームページ(雪崩防災情報を掲載中)

<http://www.mlit.go.jp/river/sabo/>